

最優秀賞

一般建築物の部

建築主：株式会社 竹中工務店
設計：株式会社 竹中工務店
施工：株式会社 竹中工務店
所在地：印西市大塚1-5-1

～時を経ても変わらぬ理念と、新たな価値創造と技術革新により変わる形態～

竹中技術研究所リニューアルプロジェクト



既存の中庭を内部化して全研究員が集まるひとつながりの研究室

本作品は1993年に竣工した技術研究所の改修プロジェクトで、本賞の第1回表彰作品でもある。当時の講評によると、豊かな自然環境を活かすとともに、周辺地域の景観との親和性が高いこと、働く場の環境を新たに提案しようとする姿勢が高く評価されての授賞であったのだが、時代に合わせて建築のカタチは変わっても、精神が引き継がれていることが大変感慨深い。

プランにおける大きな変更点は、研究棟を分節していた中庭を内部化することで一体化を図ったことである。天井部には昼光制御機能を備えたトップライトを設け、天候や時刻による変動を取り込みつつ、温度や光量など環境要素を多様化させている。従来の設計であれば、平均的な快適解に基づく定常空間を目指すところだが、非定常かつバリエーションのある環境を高い制御技術により用意し、執務者の作業や好みに応じて場所を自由に選択可能とした。副次的に執務者が専門分野に因ら

ず自動的にミックスされ、コミュニケーションを誘発する仕掛けとして機能する点も興味深い。これまでも「パーソナル環境制御」は無かったわけではないが、空調や照明の出力を個別制御する設備中心の技術が多いのに対し、本手法は意匠と設備の協働が無ければ実現せず、他分野連携の重要性を謳う理由を立証しているようにも思える。

また、自然環境への取り組みも、生物多様性やグリーンインフラの技術を実証研究する「調の森SHI-RA-BE」も配備し進化を続けている。時代を重ねる毎に建築が魅力を高め、新たな価値観を創出・提案してくれることを今後も期待したい。

(加藤 未佳)



増築により生まれた屋上庭園は屋外での執務も可能となる



周辺住民と協業し、都市養蜂や有機野菜の栽培にも取り組む調の森SHI-RA-BE®

(撮影全て/エスエス 島尾望)